

1. 科目名 (単位数)	公認心理師の職責 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3356
2. 授業担当教員	魏 孝棟		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。</p> <p>(1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析 (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助 (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助 (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供</p> <p>このような職務を適切に遂行するために必要な知識と倫理を身につけるために、①公認心理師の役割、②公認心理師の法的義務及び倫理、③心理に関する支援を要する者等の安全の確保、④情報の適切な取扱い、⑤保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務、⑥自己課題発見・解決能力、⑦生涯学習への準備、⑧他職種連携及び地域連携について学びます。</p>		
8. 学習目標	<p>①公認心理師の役割について理解し、説明できるようになる。 ②公認心理師の法的義務及び倫理について理解する。 ③心理に関する支援を要する者等の安全確保の方法を身につける。 ④情報の適切な取扱い方について理解する。 ⑤保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務を理解し、説明できるようになる。 ⑥公認心理師として求められる資質、技能、倫理について理解し、自己に求められる課題把握ができるようになる。 ⑦生涯学習への準備の必要性を理解する。 ⑧他職種連携及び地域連携について理解し、説明できるようになる。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>1. 授業で取り上げる内容について、事前に自ら確認し、不明な点は文献等を用いて調べておくこと。 2. 理解度を確認するため、毎回の授業内でリアクションペーパーの提出を求める。 3. レポート課題のテーマは「公認心理師として大切にしたい職責—私の専門職観の形成」とする。詳細は授業中に提示する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 野島 一彦 (編) 「公認心理士の基礎と実践 23 公認心理師の職責」第 2 版 遠見書房 2024 年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 ①公認心理師の役割について理解し、説明することができる。 ②公認心理師の法的義務及び倫理について理解している。 ③心理に関する支援を要する者等の安全確保の方法を身につけている。 ④情報の適切な取扱い方について理解している。 ⑤保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務を理解し、説明できる。 ⑥公認心理師として求められる資質、技能、倫理について理解し、自己に求められる課題把握ができる。 ⑦生涯学習への準備の必要性を理解している。 ⑧他職種連携及び地域連携について理解し、説明できる。</p> <p>○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢 20%、試験 40%、課題レポート 40% で判断する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>対人援助者としての公認心理師になるためには長い道のりがあり、その途上では自分の公認心理師としての適性を確認することが必要となります。実習に出るまでに、自分の適性を見つめる努力をしておいて下さい。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業にて知らせる		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 公認心理師制度の概要と公認心理師の役割	事前学習	教科書 11-21 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 11-21 頁について復習し、不明な点について補う。
第 2 回	公認心理師の法的義務・倫理 ①守秘・同意・記録	事前学習	教科書 22-34 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 22-34 頁について復習し、不明な点について補う。
第 3 回	公認心理師の法的義務・倫理 ②境界、利益相反、ハラスメント	事前学習	教科書 22-34 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 22-34 頁について復習し、不明な点について補う。
第 4 回	クライアント/患者らの安全確保	事前学習	教科書 35-47 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 35-47 頁について復習し、不明な点について補う。

第5回	情報の適切な取り扱いについて	事前学習	教科書 48-61 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 48-61 頁について復習し、不明な点について補う。
第6回	保健医療分野における業務	事前学習	教科書 62-75 頁を読み、内容を整理する。
		事後学習	教科書 62-75 頁について復習し、不明な点について補う。
第7回	福祉分野における業務	事前学習	教科書 76-85 頁を読み、内容を整理する。
		事後学習	教科書 76-85 頁について復習し、不明な点について補う。
第8回	教育分野における業務	事前学習	教科書 86-99 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 86-99 頁について復習し、不明な点について補う。
第9回	司法・犯罪分野における業務	事前学習	教科書 100-113 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 100-113 頁について復習し、不明な点について補う。
第10回	産業・労働分野における業務	事前学習	教科書 114-124 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 114-124 頁について復習し、不明な点について補う。
第11回	支援者としての自己課題発見・解決能力	事前学習	教科書 125-134 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 125-134 頁について復習し、不明な点について補う。
第12回	生涯学習への準備	事前学習	教科書 135-146 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 135-146 頁について復習し、不明な点について補う。
第13回	多職種連携と地域連携	事前学習	教科書 147-161 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 147-161 頁について復習し、不明な点について補う。
第14回	公認心理師の今後の展開	事前学習	教科書 162-176 頁を読み、要点を整理する。
		事後学習	教科書 162-176 頁について復習し、不明な点について補う。
第15回	まとめ 公認心理師としてのアイデンティティ形成	事前学習	これまでの内容を振り返り、整理しておく。
		事後学習	これまでの授業内容を踏まえ、自己理解を深める。